動物実験委部会

目的

(a) 大学等における動物実験を伴う生命科学研究は、人の健康・福祉・先端医療の開発展開のみならず、動物の健康増進等における研究分野の進展においても必要な手段である。本委部会は、「動物愛護及び管理に関する法律」、「実験動物の飼養及び保管並びに苦痛の軽減に関する法律」、及び文部科学省が策定した「研究機関等にとける動物実験等の実施に関する基本指針」を踏まえ、日本学術会議が作製した「動物実験の適正な実施に向けたガイドライン」を参考に、科学的観点、動物愛護の観点、及び環境保全の観点、並びに動物実験等を行う教職員・学生等の安全確保の観点から、動物実験等の実施の方向を検討する。

(b) 動物実験計画については、計画書を提出させ、実験が適正な計画に基づいているかを審議する。特に動物実験が動物愛護の精神に沿っているか、また、実験計画が理に叶っているかを審議し、実施の可否を決定する。実験動物の愛護については、「研究機関における動物実験等の実施に関する基本指針」等の定めるところに則って、動物の数は適正か、飼育方法、手術の場合は動物に与える苦痛の程度、麻酔の有無、最終的な処分方法、などについても審議する。

(c) 動物実験実施者に対する講習会を行う。動物愛護に基づく法規の概略、および実地における注意事項を説明する。動物実験実施者は毎年 1 回受講する義務がある。講師は中央研究施設長とする。

動物実験委部会　構成　2022 年度

部員等の構成		数
施設長	1 号委員	1 名
動物実験等有識者	2 号委員	1 名
実験動物有識者	3 号委員	1 名
その他の学識有識者	4 号委員	1 名

動物実験委員会　2021 年度　開催日　　（2022 年 5 月　現在）

	開催日	主な審議事項
第 1 回	2021 年　4月 21 日(水)	・2020 年度動物実験報告書（14 件）について ・2021 年度の動物実験計画書（3 件）について ・2021 年度実験動物慰霊祭について
第 2 回	2021 年　5月	・新規動物実験計画書及び内容変更追加申請の承認について （新型コロナウイルス感染症の影響によりメール審議）
第 3 回	2021 年　9月 15 日(水)	・新規動物実験計画書の承認について ・動物実験規定の改定及び中央研究施設使用細則について
第 4 回	2022 年　2月 16 日(水)	・2022 年度動物実験計画書について ・微生物モニタリングについて ・動物実験講習会について

動物実験委部会　2022 年度　開催日　　（2022 年 5 月　現在）

	開催日	主な審議事項
第 1 回	2022 年　5月 11 日(月)	・2021 年度動物実験報告書（14 件）について ・中央研究施設使用細則の変更について

動物実験講習会　開催日　　（2022 年 5 月　現在）

（2022 年度動物実験に関わる者が対象）

	開催日	受講人数
第 26 回	2022 年　2月 15 日(火)	14 名
第 24 回	2022 年　3月 1 日(火)	9 名

動物実験講習会　資料

- 資料 1　動物の愛護及び管理に関する法律
- 資料 2　動物実験処置の苦痛分類に関する解説 及び 倫理基準による医学生物学的処置に関する分類
- 資料 3　実験動物の飼養及び保管並びに苦痛の軽減に関する基準　（環境省）
- 資料 4　研究機関等における動物実験等の実施に関する基本指針及びその概要　（文部科学省）
- 資料 5　動物実験の適正な実施に向けたガイドライン（日本学術会議 ）
- 資料 6　ヘルシンキ宣言
- 資料 7　藍野大学動物実験規程
- 資料 8　藍野大学中央研究施設使用細則及び別紙 1～16
- 資料 9　研究費按分手続き

2022 年度　承認された研究課題

	研究課題名	備考
1	脊髄損傷モデルラット、マウスを用いた神経再生治療法の開発	更新
2	脊髄損傷における新規電気刺激リハビリ方法開発へ向けた生化学的解析によるアプローチ	更新
3	オルガノイドを用いた内耳再生に関する研究	更新
4	内耳再生に関する研究	更新
5	微小重力環境における内耳に関する研究	新規
6	Lmo2 転写因子複合体による内耳血管新生制御に関する研究	新規
7	終糸上衣細胞の培養方法の確立と移植効果の検討	更新
8	Lmo2 転写因子複合体による血管新生制御	更新
9	骨髄間質細胞をはじめとする体性幹細胞由来の神経突起伸長因子の解析	更新
10	小動物（ラット、ラビット）の体外循環での慢性モデルの確立と体外循環での炎症反応抑制に向けた検証	更新
11	脊髄損傷モデルラットを用いた自発的リハビリテーションの有効性の検討	更新
12	脊髄損傷ラットに対して集団での自発歩行の運動機能と形態学的分子生物学的効果の検証	新規

2021 年度　承認された研究課題

	研究課題名	備考
1	終糸上衣細胞の培養方法の確立と移植効果の検討	新規
2	脊髄損傷モデルラット、マウスを用いた神経再生治療法の開発	更新
3	小動物（ラット、ラビット）の体外循環での慢性モデルの確立と体外循環での炎症反応抑制に向けた検証	更新
4	脊髄損傷モデルラットを用いた歩行トレーニングによる運動機能回復メカニズムの解明	新規
5	内耳再生に関する研究	新規
6	オルガノイドを用いた内耳再生に関する研究	更新
7	脊髄損傷モデルラットを用いた自発的リハビリテーションの有効性の検討	更新
8	骨髄間質細胞をはじめとする体性幹細胞由来の神経突起伸長因子の解析	更新
9	Lmo2 転写因子複合体による血管新生制御	更新
10	微小重力環境における内耳に関する研究	新規
11	ラット組織の観察（高大連携プログラムにおける「総合的な探究の時間」）	更新
12	脊髄損傷における新規電気刺激リハビリ方法開発へ向けた生化学的解析によるアプローチ	新規
13	Lyl1TG マウスの内耳に関する研究	新規

2020 年度　承認された研究課題

	研究課題名	備考
1	腎臓に発現する新規分子の解析	更新
2	脊髄損傷モデルラット、マウスを用いた神経再生治療法の開発	更新
3	骨髄間質細胞由来の神経突起伸長因子の解析	更新
4	終糸上衣細胞の培養方法の確立	更新
5	コラーゲンゲルの移植によるラット損傷脊髄の再生	更新
6	中心管上衣細胞の移植によるラット損傷脊髄の再生	更新
7	ラット腰髄損傷モデルの作成―自発的リハビリテーションの有効性を検討するための予備的研究	更新
8	オルガノイドを用いた内耳再生に関する研究	新規
9	気管上皮細胞の障害と修復メカニズムに関する研究	新規
10	内耳および腎臓の再生に関する研究	新規
11	Lmo2 転写因子複合体による血管新生制御	更新
12	筋電図を用いた正常ラットの歩行解析	新規
13	小動物（ラット、ラビット）の体外循環での慢性モデルの確立と体外循環での炎症反応抑制に向けた検証	更新
14	ラット組織の観察　（高大連携プログラムにおける「総合的な探究の時間」）	新規

実験動物慰霊祭

2021 年 11 月 9 日（火）にD棟セミナー室にて、実験動物のための慰霊祭を執り行いました。

慰霊祭は参列者全員が黙祷を行った後、学長、施設長からの挨拶と慰霊のことばが述べられました。

最後に、尊い命を捧げてくれた実験動物の冥福を祈り、参列者全員が献花をしました。

動物実験に関する外部検証

2017 年 10 月 25 日（水）に、公益社団法人実験動物学会外部検証委員会による

「動物実験に関する外部検証」を行いました。

検証結果（別ファイル参照）

動物実験に関する自己点検・評価報告書

上記外部検証の報告書に従い、指摘点を改善し、

2021 年度における「動物実験に関する自己点検・評価報告書」を作成しました。

様式 1-2（別ファイル参照）